

三方良しの『健康経営』 ～企業インタビュー～



株式会社 近藤工作所

～「ものづくり 人づくり」を健康経営で実現～

健康経営を始めようとしたきっかけ

弊社は経営理念として「ものづくり 人づくり」を掲げています。これはものづくりを通じて、会社を繁栄させることで社員とその家族を幸せにすること、すなわちひとつづくりの実現には健康であることが一番大切であるため、健康経営を実践することにしました。

主な取組内容

- ・健康管理の基本である健康診断の受診率100%を維持。再検査・精密検査の受診勧奨を実施
- ・自動販売機の飲料をローカロリーや糖分の少ないものに変更、熱中症対策として休憩室にウォーターサーバーを設置
- ・社員さんは安城市にあるリネーブルキャリアの荒川さんと面談を定期的に行うことで将来のキャリアビジョンがより描きやすくなる。

特に力を入れている取組

- ・声掛け、質の高いコミュニケーション。例として、朝礼で3つの部署に別れリーダーが一人一人に「本日の体調はどうですか？」と声を掛けて、グループで「ゼロ災害で行くぞ！よし」と毎日号令を掛けてから作業開始
- ・健康・運動促進アプリを導入し、目標歩数を達成するとバッジ進呈

今後の展望

この10年間で女性社員の離職率0%を達成することができました。喫煙率低下の取り組みも推進していますが、まだまだ健康経営の課題は多いと考えています。これからもコミュニケーションをメインフレームに、フレンドリーな会社の雰囲気さをさらに向上させ、ブライツ500の認定を目指していきます。



常務取締役
田中 有紀子 氏